

第8回 高崎学検定

令和2年10月24日（土）



—— 問題と解説 ——

問 1

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎市吉井町神保にある【ア】の境内には、群馬県指定天然記念物の大木があります。樹種は常緑樹の【イ】で、樹齢は500年と推定され、同寺の開山・直翁えいしゅう斎正の手植えとも伝えられています。

ア (1) 龍源寺りゅうげんじ (2) 仁叟寺じんそうじ (3) 恩行寺おんぎょうじ (4) 慈眼寺じげんじ

〔正解 2〕

イ (1) カヤ (2) イチョウ
(3) アラカシ (4) ヒマラヤスギ

〔正解 1〕

●解説

カヤは高木の常緑樹で、本州のうち宮城県以南、四国、九州に分布しています。山地に自生するほか、庭木や公園樹としても植えられることが多く、建築材のほか基盤にも使用されています。

仁叟寺の御神木とされるカヤは、1952（昭和27）年に群馬県より天然記念物に指定されました。なお同寺には、市指定天然記念物のモク（ムクノキ）もあります。（吉井地域では、ムクをモクと呼んでいます。）

問 2

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

市街地の西方に位置する八幡台地は、原始古代の遺跡の宝庫です。台地上の一画を占める八幡霊園のなかには、1970～1972（昭和45～47）年の霊園造成工事の際にみつかった遺構が保存され、県指定史跡となっています。旧市内では珍しい縄文時代の遺構もあり、縄文中期の【ア】は覆屋おおいやの下に保存されています。園内には3基の円墳も残されており、このうち峯林みねばやし古墳では大振りの自然石を組み上げた【イ】を見学することができます。古代の土木技術の巧みさを偲ぶことができます。

- ア (1) 敷石住居跡 (2) 配石墓
(3) 陥し穴跡 (4) 環状列石

〔正解 1〕

- イ (1) 舟形石棺 (2) 竪穴式石室
(3) 石組み井戸 (4) 横穴式石室

〔正解 4〕

●解説

霊園の中には、若田大塚古墳、檜ノ木塚古墳という2基の円墳も保存されており、古代の墓域と現代の墓地が共存した空間となっています。このうち若田大塚古墳は直径約30メートルの大型の円墳で、石室からは鉄製のよろい（短甲）や、付け根を金で装飾した鉄鉾などが出土しています。

問3

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

浅間山古墳は、高崎市倉賀野町にある巨大な【ア】です。墳丘の周りには、広大な二重の濠を巡らしています。墳丘の長さは172メートルで、築造された【イ】においては東日本最大の古墳でした。当時の大王墓の可能性が高い奈良県奈良市佐紀^{さきみささぎやま}陵山古墳と同じ設計で造られていることから、浅間山古墳の被葬者はヤマト王権の同盟勢力であったと考えられます。

- ア (1) 円墳 (2) 前方後方墳
(3) 前方後円墳 (4) 方墳

〔正解 3〕

- イ (1) 3世紀後半 (2) 4世紀後半
(3) 5世紀後半 (4) 6世紀後半

〔正解 2〕

●解説

浅間山古墳が所在する倉賀野町は、明治時代の初期まで、利根川水運の最上流域の港(倉賀野河岸)として栄えました。古墳時代も水運が盛んで、東京湾と関東内陸部は河川交通で結ばれていたと考えられます。浅間山古墳の被葬者と古代の水運の関係が注目されます。

問 4

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

下佐野町烏川左岸縁の上越新幹線高架橋脇にある、墳丘長70メートル級の前方後円墳【ア】は、死者を納める主体部が烏川対岸の岩野谷丘陵の凝灰岩の巨石を積み上げた全長8メートルの横穴式石室を持つ大型古墳です。

この地域には80基あまりの古墳がまとまり、6世紀後半頃にヤマト王権の直轄地佐野屯倉(三家)の管理者であった豪族一族のものと考えられています。

また烏川対岸には、碑文中に「佐野三家」と記された山上碑、「下賛郷」と記された【イ】があり碑建立に深く関わっていたことが分かります。

- ア (1) 山名5号墳 (2) 大鶴巻古墳
(3) 漆山古墳 (4) 山上古墳

〔正解 3〕

- イ (1) 多胡碑 (2) 山上多重塔
(3) 入野碑 (4) 金井沢碑

〔正解 4〕

●解説

漆山古墳は、佐野古墳群中最大の墳丘長70メートル級の大型前方後円墳です。死者を納める石室は、上野三碑の「山上碑」や「金井沢碑」がある岩野谷丘陵基盤層の凝灰石巨岩を積み上げた全長8メートルの横穴式です。現地でのこの古墳石室内部を覗くことができます。

この場所は、6世紀後半頃に当地に置かれたとみられるヤマト王権の直轄地「佐野屯倉」の推定地にあたり、古墳を築造した人々は佐野屯倉の管理者であった豪族と考えられています。

問5

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

【ア】は、1968（昭和43）年から発掘調査が始まり、1981（昭和56）年に群馬県初の史跡公園として開園しました。

この古墳は6世紀後半に造られたもので、大量の副葬品は後の盗掘をまぬがれたために、同時期の他の古墳に見られない朝鮮半島、中国からの搬入品を多数見ることができます。

これらのことから、この古墳の勢力が、直接朝鮮半島と交流した可能性もあり、今後の研究の重要な課題となっています。

これらの調査研究は群馬県だけでなく、日本列島全体の考古学資料に影響をあたえ、出土品は一括して【イ】に指定され、群馬県立歴史博物館に収蔵されています。

- ア（１）南下古墳 （２）観音塚古墳
（３）綿貫観音山古墳 （４）二子山古墳

〔正解 ３〕

- イ（１）県重要文化財 （２）国宝
（３）国重要文化財 （４）世界遺産

〔正解 ２〕

●解説

綿貫観音山古墳は、墳丘長97メートルで6世紀後半に築造された前方後円墳です。石室に使われた巨大な石が崩落していたため、大量の副葬品は後の盗掘をまぬがれました。その結果、500点を越える副葬品が1968（昭和43）年に始まった発掘調査で出土しました。これらの副葬品の中には、百済の武寧王の墓から出土したものと同型の獣帯鏡^{じゅうたいきょう}、中国で作られた銅製の水瓶^{すいびょう}などがあり、朝鮮半島や中国大陆との深いつながりを示し、学術的価値が極めて高い資料と評価され、出土品は一括して2020（令和2）年9月に国宝に指定されました。

問 6

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

多胡薬師塚古墳は、吉井地区の鎭川右岸の段丘上に造られた【ア】の終末期古墳です。直径25メートルほどの小型円墳ですが、内部には【イ】の切石を用いた精緻な横穴式石室がみられます。この時期から急速に力を付けた豪族がいたことが分かり、この勢力は後に【ウ】に成長していくと考えられます。

ア (1) 5世紀 (2) 6世紀 (3) 7世紀 (4) 8世紀

〔正解 3〕

イ (1) 館凝灰岩 (2) 輝石安山岩
(3) 角閃石安山岩 (4) 牛伏砂岩

〔正解 4〕

ウ (1) 上野国司 (2) 多胡郡司
(3) 甘楽郡司 (4) 佐野屯倉

〔正解 2〕

●解説

多胡薬師塚古墳は、現在も横穴式石室が開口しており、内部を見学することができます。懐中電灯持参で見学すると、当時の石材加工技術の巧みさを目の当りにすることができます。秋の訪れとともに墳丘一面に彼岸花が咲き誇り、鮮やかな赤に彩られます。

問 7

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

上信電鉄、佐野のわたし駅からほど近くに、万葉集に収められた東歌の一首が刻まれた歌碑が建てられています。「かみつけの 佐野の船はし とりはなし 親はさくれど わはさかるがへ」と刻まれたこの東歌には、これにまつわる伝説があります。橋を挟んで若い男女が恋仲となりますが、これに反対

する親が、2人が会えないように【 ア 】ために、2人共に川に流され亡くなったというもので、謡曲『船橋』は、この東歌と伝説を素材として作られたとされています。

この歌碑から200メートルほど南に、謡曲『【 イ 】』の主人公の屋敷跡と伝わる常世神社^{つねよ}があります。さらに300メートルほど南には有名な歌人を祀った【 ウ 】があり、極彩色に彩られた社殿の天井には数多くの和歌が記されています。

- ア (1) 川を氾濫させた (2) タカを放し襲わせた
(3) 橋板を外した (4) 橋を燃やした

〔正解 3〕

- イ (1) 高砂 (2) 道成寺 (3) 鉢木 (4) 羽衣

〔正解 3〕

- ウ (1) 小町神社 (2) 定家神社
(3) 業平神社 (4) 人麻呂神社

〔正解 2〕

●解説

佐野の船橋歌碑（市指定史跡）には、万葉集巻十四に収められた東歌の一首「かみつけの 佐野の船はし とりはなし 親はさくれど わはさかるがへ」が刻まれています。

船橋とは、船をつないだ上に板を渡して浮き橋としたもので、古来重要な交通路であったことを物語っています。

この船橋にまつわる伝説が残されています。烏川を挟んだ2つの村のそれぞれの長者の息子と娘が恋仲となり、夜になると船橋を渡って人目を忍んで会っていました。このことを知った親が、2人が会えないよう橋板を外しておいたところ、それを知らない2人は足を踏み外して川に落ちて亡くなったというもので、謡曲『船橋』の素材にもなりました。

また、この歌碑は、2人の怨霊を慰めるために建てられたともいわれています。

問 8

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

榛名神社には新田義貞が奉納したともいわれる1323（元亨3）年の銘がある【ア】があります（群馬県指定重要文化財）。榛名山の東麓から南麓の地域にかけての郡（^{こおり}評）名は713（和銅6）年に「^{くるま}車」から好字2文字に改められ、「^{くるま}群馬」に改定されましたが、読みは「クルマ」のままでした。この【ア】の銘文中には「上野国車馬郡」とあり、中世においても「群馬」が「クルマ」と読まれていたことがわかるほか、「【イ】」という銘から、榛名神社ではこの時代に神仏習合が進んでいたことがわかる貴重な資料になります。

ア（1）板碑 （2）五輪塔 （3）鉄燈籠 （4）^{ほうきょう}宝篋印塔
〔正解 3〕

イ（1）満行権現 （2）榛名八幡
（3）榛名明神 （4）榛名権現
〔正解 1〕

●解説

「^{くるまこおり}車評」と呼ばれていた榛名山東南麓は713（和銅6）年、「群馬郡」に改められました。しかし読みは「クルマ」のままで、中世においてもこの榛名神社の鉄燈籠の例などから「クルマ」と呼ばれていたことがわかります。

「権現」とは、仏が仮に姿を変えて神として現れることで、榛名神社は中世には満行権現とよばれ、神仏習合が進んでいたことがわかります。

問 9

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

古代には、都と地方を結ぶ官道（^{えきろ}駅路）が整備されました。このうち、都から中部日本の内陸を通して東北地方までを結ぶのが【ア】駅路です。

この駅路は、安中市の野後^{のじりのうまや}駅を出た後、高崎市の八幡地区、浜川地区などを経由して、【 イ 】に至ります。当時の官道は、情報をいち早く届けるため、平野部は直線的に計画されていました。浜川地区には、現在も田園地帯を一直線に貫く地割が残され、その下に官道が埋もれていると考えられます。

ア (1) 東山道 (2) 東海道 (3) 中山道 (4) 鎌倉街道

〔正解 1〕

イ (1) 山王廃寺 (2) 上野国分寺
(3) 総社古墳群 (4) 上野国府

〔正解 4〕

●解説

古代の官道にはおよそ16キロメートル毎に駅(駅家)が置かれました。駅には多くの馬が常備され、役人や賓客の宿泊休憩所が設けられました。この駅を繋ぎ、都と地方の間の公的情報をスピーディーに伝えるのが「駅伝制」で、そのルートが駅路(たとえば東山道駅路)でした。駅路の名称は、地方行政エリア名としても用いられました(例えば東海道)。今日、「駅」は鉄道施設を指しますが、本来は道に置かれた公的なサービスエリアのことだったのです。

問10

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

下豊岡町にある【ア】には、「みかえり阿弥陀像」とよばれる仏像があります。ヒノキ材の寄木造りで、両手は欠落していますが、顔を左横に向けている姿が特徴的です。このような形式の仏像は、全国でも数体しか知られていません。

ところで、同じ敷地内には、江戸中期に全国で活躍した俳人・白井鳥酔の句碑「おもしろひ ゆめみるかほや 涅槃像」があります。「みかえり阿弥陀像」を釈迦の涅槃像に見立てたと考えられます。なお、江戸時代に中山道

の南にあった【 ア 】は【 イ 】の拡幅工事の際に、現在地に移転しています。

ア (1) 常安寺 (2) 薬師堂 (3) 千日堂 (4) 万日堂

〔正解 4〕

イ (1) 国道18号 (2) 国道17号
(3) 国道354号 (4) 国道254号

〔正解 1〕

●解説

みかえり阿弥陀像（市指定重要文化財）は珍しい姿をしていますが、同様の仏像は全国で5体といわれています。像高は82.2センチで、欠落した両手は「来迎印」と推定され、足が2つの蓮華座にまたがっていることが特徴的です（通常1つ）。制作年代は室町時代説と17世紀説があり、足裏に輪宝と金泥が残ることから、本来は釈迦涅槃像（倒れた姿）であった可能性もあります。また地元には、見返りの由来について述べた「永観、遅いぞ」の伝説があります。

この「みかえり阿弥陀像」を収蔵する万日堂に隣接して、白井鳥酔句碑（市指定重要文化財）があります。鳥酔は、江戸時代中期の俳人で、上総国埴生郡地引（千葉県長南町）旗本の代官の家に生まれました。一時家督を継ぎますが、俳諧の道を選択して佐久間柳居に師事します。やがて全国に多くの門人を持つようになりました。

ところで、鳥酔句碑を建てたのは、高崎の俳諧結社「四弁庵」連中です。彼らは鳥酔没後七回忌の1775年（安永4）に、万日堂のみかえり阿弥陀を釈迦の涅槃像と見立て、句碑を建立して師匠の供養としたと考えられます。句碑は瘞齒塔で、建立時に鳥酔の齒を埋めたと推定されます。そして碑の書は、椿山田忠（高崎宿役人の福田平左衛門）で、江戸中期に金井沢碑を発見した人物としても知られています。

また、句碑建立に合わせて、同年に記念句集『はいかい涅槃像』が出版されました。同句集には、高崎の俳人・生方雨什や、羽鳥一紅と夫の野鶴（後の麦舟）、そのほか各地の俳人が入集しています。

問 1 1

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

中世になると私領としての荘園が立荘されるようになります。高崎市域の荘園では、【ア】荘や多胡荘が知られます。一方、長野郷（榛名山南麓）は国の役所である国衙^{こくが}が領するところ（国衙領）となり、国衙の在庁官人^{ざいちょうかんじん}を中心として開発が進められました。榛名神社の1190（建久元）年の「上野国留守所下文」^{こうずけのくにするすどころくだしづみ}には在庁官人幹部として「【イ】氏」がみえます。戦国時代に上州一揆の旗頭として活躍する長野氏は、【イ】を別姓としていて、長野氏の祖がこの時期から活躍していたことがうかがえる史料です。その後、長野氏は一時史料にみえなくなりますが、長野郷が守護上杉氏の国衙領として存続する中で、戦国時代に長野氏が勢力を伸ばすことになります。

ア（１）倉賀野 （２）浜川 （３）八幡 （４）綿貫

〔正解 ３〕

イ（１）石上^{いそのかみ} （２）里見 （３）山名 （４）和田

〔正解 １〕

●解説

榛名山南麓は中世には長野郷とよばれ、国衙領でした。鎌倉時代初期に長野氏がいたことが知られ、「上野国留守所下文」の石上氏や、後の長野氏との関連が考えられています。長野郷は室町時代になると上野国守護上杉氏の所領として存続し、戦国時代の頃から上州一揆の旗頭として活躍する長野氏が勢力を伸ばすことになります。

問 1 2

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1560（永禄3）年に長尾景虎（後の上杉謙信、以下、謙信）は関東に初めて出兵しました。謙信の下には、上野国の武将が多数参陣しましたが、西上野では、長野氏を中心に19人の武将が結集した【ア】が最大の武士団でした。

謙信が翌年に越後に戻ると、上野は南から北条氏、西からは武田氏に侵攻されることになりました。特に西上野は武田氏の侵攻が激しく、長野氏と同盟関係にあった【イ】氏や倉賀野氏が武田氏の侵攻対象となり、1564（永禄7）年までにそれぞれの拠点である【イ】城や倉賀野城は落城しました。さらに吾妻郡も武田氏に侵攻されたため、箕輪城は孤立することになりました。この結果、毎年のように武田氏の侵攻を防いでいた箕輪城も1566（永禄9）年、ついに落城しました。

ア（1）倉賀野衆 （2）惣社衆 （3）厩橋衆 （4）箕輪衆

〔正解 4〕

イ（1）岩下 （2）那波 （3）由良 （4）和田

〔正解 4〕

●解説

武田氏の西上野侵攻に対して、上杉氏側として、長野氏は箕輪城を拠点に最後まで抵抗しました。和田城や倉賀野城が落とされる中、難攻不落と伝えられる箕輪城は1566（永禄9）年まで持ちこたえましたが、ついに落城し、武田氏の城になりました。武田氏は浅利信種などの重臣のほか、後に「武田四天王」といわれる内藤昌秀・馬場信春・山県昌景・高坂昌信のうち、内藤昌秀を箕輪城に配置し、西上野支配の拠点としました。

問 1 3

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

箕輪城の北東には、築城した長野氏が創建し、城の鬼門除けとして知られる石上寺せきじょうじが所在しています。長野氏はこのほか、妙福寺、延養寺、八幡社、【 ア 】、慈上寺などの寺社を箕輪城の南側を中心に配置し、町を整備しています。その後、最後の城主、井伊直政は、石上寺のさらに北東に菩提寺として【 イ 】を創建し、この寺を起点にして2本の直線的な道を整備するなどの町づくりを進めました。

ア (1) 安国寺 (2) 永福寺 (3) 玉田寺 (4) 慈照寺
〔正解 1〕

イ (1) 興禅寺 (2) 大信寺 (3) 龍廣寺 (4) 龍門寺
〔正解 4〕

●解説

箕輪城の長野氏時代には、石上寺を城の北東に鬼門除けとした以外は、妙福寺、延養寺、八幡社、安国寺、慈上寺などの寺社を箕輪城の南側を中心に配置し、特に現在の県道前橋・箕郷線(県道6号)沿いに町を整備していたことがうかがえます。井伊直政の時代になって、龍門寺が石上寺のさらに北東に創建され、この寺を起点にして直線的な道を整備し、さらに城の南側も同様な直線的な道や用水を整備しています。直政は徳川家康の家臣で最高石高になる12万石で箕輪に配置されたように、この地を関東では江戸に次ぐような城下町を目指して町を整備していきました。

問 1 4

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

織田信長は、武田家を滅ぼすと上野国全部および信濃国のうち2郡を重臣の【 ア 】に与え、この地を治めさせました。しかし、わずか3か月後に起きた本能寺の変により信長が横死すると、【 ア 】はその弔い合戦のた

め上京を図ります。ところが、小田原の北条氏が関東地方の支配者としての地位を勝ち取る絶好の機会と考え、上京を阻止するために5万といわれる大軍で出陣し、上野国と武蔵国の境を流れる川を挟んで壮絶な戦いとなりました。【 イ 】合戦と呼ばれるこの戦いは、戦国時代を通して関東地方で最も大きな野戦といわれます。

- ア (1) 佐久間信盛 (2) 佐々成政
 さくまのぶもり さっさなりまさ
 たきがわかずます にわながひで
(3) 滝川一益 (4) 丹羽長秀

〔正解 3〕

- イ (1) 鐺川 (2) 烏川 (3) 神流川 (4) 温井川

〔正解 3〕

●解説

新町の南側、上野国と武蔵国の境を流れる神流川流域において、戦国時代を通じ関東地方で最も大きな野戦といわれる神流川合戦がありました。織田信長の重臣滝川一益と上野国諸将を中心とした1万8千の軍勢が、北条氏直・氏邦が率いる北条勢5万と対峙した戦いです。

戦いの3か月前、信長が甲州征討を終了すると、一益は上野一国と信濃国小県郡・佐久郡を与えられ、厩橋城を本拠として関東地方を統治し始めました。しかし、北条家は織田家の同盟として参戦しながら、武田家遺領は与えられず不満を持っていたといわれます。

1582（天正10）年に信長が本能寺の変によって横死すると、一益はその弔い合戦のため上京を図ります。ところが、小田原の北条氏が関東地方の支配者としての地位を勝ち取る絶好の機会と考え、上京を阻止するために大軍で出陣します。緒戦に勝利した一益軍ですが、無勢は如何ともしがたく、敗れた一益は戦場を離れ、碓氷峠を越え京へ向かいました。

問 15

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎市あら町シンフォニーロードの北側に建つ【 ア 】本殿は、江戸時代の寺社建築として市の重要文化財に指定されています。社殿は一見二層に見えますが裳階もこしをつけた平屋建てで、軒下に直接鳥居を造りつけ、外壁は

土蔵のような総漆喰の塗籠造りで、裳階の外壁の下半が【 イ 】になっています。

この神社は箕輪の下ノ社が井伊直政の移城と共に高崎城下に遷座されたもので、上ノ社は新紺屋町に移りました。1907(明治40)年8月に【 ウ 】に合祀されましたが、地元のあら町では長野県の総本社から再び勧請して、現在でも地元有志が中心に祭祀を行っています。

- ア (1) 稲荷神社 (2) 山王神社
(3) 諏訪神社 (4) 富士神社

〔正解 3〕

- イ (1) 板壁 (2) 大津壁 (3) 聚楽壁 (4) 海鼠壁

〔正解 4〕

- ウ (1) 愛宕神社 (2) 高崎神社
(3) 八幡神社 (4) 頼政神社

〔正解 2〕

●解説

高崎駅から市役所方面へ向かうと、シンフォニーロードあら町交差点の斜め北側に諏訪神社本殿があります。江戸時代は交差点の斜め東南にありましたが、市街地の発展に伴い数度の移転を余儀なくされました。この神社は箕輪城下にあった下ノ社が、井伊直政の移城と共に高崎城下に遷座されたもので、上ノ社は新紺屋町に移り両社共に諏訪明神と呼ばれていました。

高崎城下は数度の大火に見舞われ、この社殿も罹災し内陣の扉は1807(文化4)年の火災に遭って焦げています。社殿は一見二層に見えますが裳階をつけた平屋建てで、軒下に直接鳥居を造りつけ、屋根は平入の入母屋造りで、向拝の上に千鳥破風をつけた瓦葺です。外壁は土蔵のような総漆喰の塗籠造り、本屋根と裳腰の間に七賢人の漆喰彫刻が施され、裳階の外壁の下半が海鼠壁になっています。江戸時代の寺社建築として市の重要文化財に指定されています。

1907(明治40)年8月に諏訪明神は高崎神社に合祀されましたが、地元のあら町では長野県の総本社から再び勧請し、現在でも地元有志を中心に祭祀が行われています。

問 1 6

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎城の城下町は「遠構え」と呼ばれる堀と【ア】で囲まれる構造になっていました。この遠構えが、城下町の内と外の境界になるところが多く、遠構え付近を中心に「高崎七口」と呼ばれる7か所の出入り口（【イ】口・相生町口・江木新田口・羅漢町口・通町口・新喜町口・前栽町口）があり、その出入口近くには木戸が設けられ木戸番が置かれていました。

ア（１）生垣 （２）板塀 （３）柵 （４）土塁

〔正解 ４〕

イ（１）下小鳥町 （２）下之城町 （３）常盤町 （４）並榎町

〔正解 ３〕

●解説

高崎城の城下町は、幅4メートル前後、深さ約1メートルの「遠構え」と呼ばれた堀と高さ約2メートルの土塁で囲われていました。江戸時代の後半には既に埋まっている状況が確認されている場所もありますが、町の内と外の境界として江戸時代を通して意識され、その後の町づくりにも影響を与えています。この遠構え付近には7か所の出入り口があり、その出入口近くには木戸が設けられ木戸番が置かれていました。

問 1 7

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

江戸時代、高崎城下の江木新田口から前橋城下を経て、野州（栃木県）へと通じる前橋日光往還といわれる街道が走っていました。この内、高崎城下から江木、貝沢、新保、箱田、小相木を経て、利根川を舟で渡り、前橋城下に至るまでの道筋のことを【ア】街道と言います。

しかし、1878(明治11)年、明治天皇の巡行に際し、日高を経由する【イ】新道が整備されると、道幅が狭く曲がりくねった【ア】街道は次第に利

用されなくなりました。ほ場整備や都市開発等により、随所で街道が消滅し、今では全容を知ることが難しくなっています。

ア (1) 前橋 (2) 高崎 (3) 御成^{おなり} (4) 実正^{さねまさ} (真政^{さねまさ})

〔正解 4〕

イ (1) 追分 (2) 御幸 (3) 例幣使 (4) 高前

〔正解 2〕

●解説

江戸時代、高崎城下の江木新田口から前橋城下を経て、野州（栃木県）へと通じる前橋日光往還と言われる街道が走っていましたが、この内、高崎城下から江木、貝沢、新保、箱田、小相木を経て、利根川を舟で渡し、前橋城下に至るまでの道筋のことを実正街道と言います。実正は実政、真政などとも書きますが、前橋の小相木村（利根川右岸・現小相木町）と宗甫分^{ほぶん}（利根川左岸・現南町）の間の渡しを「実正の渡し」と言ったことから、街道の名称となりました。1616（元和2）年には「実正関所」が置かれ、下目付、足輕が常駐し、人々の往来を管理していました。3里（約12キロメートル）の道のりでした。

1878（明治11）年、明治天皇の巡行に際し、日高を経由する新たな道路が造られました。御幸新道です。天皇を乗せた馬車が通れるよう、道幅を広くとった前橋と高崎を最短で結ぶ直線道路でした。高崎から前橋に向かう際、天皇は日高で休憩します。これを記念して建立されたのが県内で最も古いとされる「聖蹟碑」です。

御幸新道は一部コースが変わるなどしましたが、旧国道17号線（現県道前橋高崎線）として、多くの人や物資が行き交う高崎前橋を繋ぐ大動脈となりました。



実正街道の起点・江木新田口（高砂町）
街道はここから北東方向に伸びていた



実正（政）街道の銘が付いた橋名板
（東貝沢町）

問 18

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

井伊直政が転出したのち、【ア】が高崎城主となり城下の整備を行いました。いくつか新設された町には、藩士を城郭内へ移住させた跡地に建設された赤坂町や、大坂夏の陣に従軍し軍功を挙げた地侍をたたえ与えられたと伝えられる【イ】があります。

【ア】の最も大きな功績は城下町の改造です。従来京口から本町通りを現在の椿町まで直進し、突き当たると右折して南へ向かっていた中山道を、本町三丁目で右折させ田町方面へ進む街道に変更しました。【ウ】城下町の中心部に往還を通し、その沿道を町屋とした城下に改造したことが、その後の商都高崎への発展に結びつきました。

- ア (1) 安藤重信あんどうしげのぶ (2) 酒井家次さかいいえつぐ
 (3) 松平信吉まつだいらのぶよし (4) 松平康長まつだいらやすなが

〔正解 2〕

- イ (1) 飯塚町 (2) 江木町 (3) 九蔵町 (4) 和田町

〔正解 3〕

- ウ (1) 内町型 (2) 開放型 (3) 専士型 (4) 総郭型

〔正解 4〕

●解説

高崎城の二代目城主酒井家次は徳川四天王の一人酒井忠次の長男で、徳川家康が関東へ領地替えになった際には、下総国臼井（千葉県佐倉市臼井）に3万7千石を与えられました。井伊直政が近江国佐和山城へ転封のあと暫く高崎城主が決まりませんでした。1604（慶長9）年に酒井家次が5万石に加増され就任しました。

家次が高崎に残した主な事業に城下町の整備があります。一つは新しい町をつくりました。城の北側で給人町と呼ばれたところに住んでいた藩士を城郭内へ移し、その跡地に町屋を建設し赤坂町と名付けました。また、家次が大坂夏の陣に出陣した際に、従軍して軍功を挙げた地侍北爪九蔵に与えられた土地は九蔵町と呼ばれ、地子免除になったこともあり多くの商家が立ち並ぶ町となり城下繁栄に繋がります。

最も大きな功績は中山道の道筋変更です。従来は京口（常盤町口）から本町通りを現在の椿町まで直進し、突き当たると右折して南へ向かっていた

中山道を、本町三丁目で右折させ田町方面へ進む往還に変更しました。高崎は侍屋敷と町屋とが「遠構え」の内に混在した総郭型の城下町ですが、その中心部に往還を通すという大胆な改造で、往還沿いには多くの商人が進出したため商都高崎への発展に結びつきました。

問 19

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎藩主松平輝^{てるとし}聴は、アメリカからの開国要求に対する方針について幕府からの諮問に、寺社奉行見習として冷静に海防政策を上申しています。一方、藩内にあっては、飛地【ア】の海岸防禦のため自ら現地を視察し、【イ】や巨砲の鑄造を行い、家臣に西洋兵学を学ばせるなどの施策を実施しました。また、全員の武装点検を行い、戦争のない時代が続いて緩んだ家臣の気持ちの引締めを図ると共に、【ウ】を作らせて家臣全員に披露し尚武の気運を高揚させています。

ア (1) 蝦夷領 (2) 勝浦領 (3) 木更津領 (4) 銚子領

〔正解 4〕

イ (1) 海図の作成 (2) 実戦訓練
(3) 砲台整備 (4) 港の開削

〔正解 3〕

ウ (1) 稲妻の鎧 (2) 銀造り太刀
(3) 源頼政像 (4) 孔雀羽陣羽織

〔正解 1〕

●解説

1853（嘉永6）年ペリーの黒船来航を機に、日本は対外政策において難しい事態に追い込まれます。当時、高崎大河内松平家九代藩主の松平輝聴は、幕閣にあって寺社奉行見習（3年後に寺社奉行）を務めていました。幕府は三奉行（寺社・勘定・町奉行）に対し、アメリカからの開国要求に対する方針について諮問が行われ、輝聴は三奉行の一員として冷静に海防政策を上申しています。

一方、藩内にあっては、飛地の銚子領（千葉県銚子市）の海岸防禦のた

め自ら現地を視察し、砲台整備や巨砲の鑄造、家臣を幕府砲術師範勝義邦（海舟）の門下を送り込み西洋兵学を学ばせるなど、いくつもの対策を実施しました。また、戦のない時代が長い間続き、緩んだ家臣の気持ちの引締めを図るために全員の武装点検を行い、自らも鎧を作らせ家臣全員に披露し尚武の気運を高揚させています。この鎧は復古調の大鎧で籠手に雷文があることから「稲妻の鎧」と呼ばれ、市重要文化財に指定されています。

問 20

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎藩士寺田五右衛門は、江戸随一の隆盛を誇った【ア】中西道場で三羽烏と称された実力者です。木刀による組太刀で天下無敵といわれ天真伝一刀流を創始しました。しかし、後継者が続かず同流派が絶え、そのため今日一般的には名前が知られませんが、幕末最強の剣士に数えられ、今日でも剣の道を志す多くの人々に敬慕されています。

剣術以外にも居合、柔術、槍術、砲術も免許皆伝のうえ、天文、地理、医術も修めた万能の持ち主でした。高崎市新後閑町に建つ通称【イ】さんには寺田が讃岐の【イ】宮から勧請した神が合祀されています。

ア（１）一刀流 （２）新陰流 （３）示現流 （４）夢想流

〔正解 １〕

イ（１）賀茂 （２）金刀比羅 （３）荒神 （４）住吉

〔正解 ２〕

●解説

江戸時代後期の最強剣士に数えられ、剣術界で全国に名声を博す人物に高崎藩士寺田五右衛門宗有がいます。宗有は江戸随一の隆盛を誇っていた中西派一刀流宗家中西子定に入門し修行をしますが、中西派二世の代になって竹刀の打合いが主流となり、宗有は面・籠手等の防具による稽古に不満が高じて中西道場を去り、平常無敵流に入門し奥義を授けられ高崎へ帰藩します。しかし、高崎藩では一刀流以外は認めないため民政に従事しましたが、再び主君松平輝和の命により一刀流の師範になるべく中西道場に戻ります。

中西道場では高柳又四郎・白井亨と並んで三羽鳥と称され、木刀による組太刀で天下無敵と言われ、千葉周作も師事しています。天真伝一刀流を創始しましたが、後継者が続かず同流派が絶えたため今日あまり知られません。しかし、今でも剣の道を志す多くの人々に敬慕されています。剣術以外にも居合、柔術、槍術、砲術も免許皆伝のうえ、天文、地理、医術も修めた万能の持ち主でした。

市内新後閑町の“金刀比羅様”は、宗有が主君の命により、一昼夜に讃岐の金刀比羅宮へ往復勧請し祀ったと伝えられています。1909(明治42)年に合併されて稲荷神社となりましたが、引き続き“こんぴらさま”と呼ばれています。江戸小石川中屋敷にあった琴平宮は当社に合併され、それを伝える宝篋印塔が社殿の奥に移されています。

問 2 1

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

江戸後期に庶民文化が花開いた中、高崎でも優れた絵師が誕生しました。【ア】は江戸四大家の一人で「秋暉の孔雀」と称された岡本秋暉に絵を学びました。高崎に帰ってから新町(現あら町)の旅籠屋油屋に婿入りした後に、宿場助成を求めて幕府へ箱訴等を行った【イ】と呼ばれる出来事に加わり入牢の処分を受けました。大雲寺にある作品【ウ】の図は高崎市的重要文化財に指定されています。

- ア (1) 青木周溪 (2) 一椿斎芳輝
(3) 武居梅坡 (4) 矢島群芳

〔正解 3〕

- イ (1) 御伝馬事件 (2) 助郷騒動
(3) 地子事件 (4) 問屋場騒動

〔正解 1〕

- ウ (1) 燕子花 (2) 水墨雲竜 (3) 天女 (4) 龍頭観音

〔正解 2〕

●解説

江戸時代後期に庶民文化が花開いた中、高崎でも優れた絵師が誕生しました。その一人の武居梅坡は、幕末期の江戸四大家の一人で「秋暉の孔雀」と称された岡本秋暉に絵を学び高崎へ戻り、新町（現あら町）の旅籠油屋の武居世平の婿養子になります。世平は歌人・狂歌師で高崎藩主松平輝聲の歌道師範を務めています。

油屋に婿入りしていたことから御伝馬事件に連座し入牢処分を受けてしまいます。この事件は、あら町が伝馬業務の負担により疲弊し、その状況を打破するため、芝居や相撲の興行許可、旅籠に飯盛り女を置くことなどを請願します。しかし願いは通らず住民は幕府へ箱訴等を行ったため、多くの町民が処分を受けた事件で、城下の商人らの支援もあり収まりました。梅坡の作品としては、菩提寺の大雲寺本堂襖に水墨雲竜の図が残されています。破損が目立ち始めたため、梅坡のひ孫武居仁子が二双四曲の屏風にしました。市の重要文化財に指定されています。

問 2 2

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

江戸中期に大噴火した浅間山の泥流は、山麓の村を押し流し、利根川から銚子に達します。また降灰は、関東甲信越から奥羽一円の農作物に壊滅的な打撃を与えました。

西上州では、降灰による街道の不通で米不足となり、高崎宿・安中宿の中山道沿いに一揆が発生して信州まで押し出します。また、灰で河床が上昇した結果、各地で洪水が発生し、高崎近傍では【ア】河岸に大型船が入れなくなるなど、降灰は流通と経済に深刻な打撃を与えました。

高崎の農民は、耕作地に降り積もった灰を除去して復旧に努めます。小山のように寄せられた灰は、その多くが【イ】と呼ばれています。当時の被害の大きさを今に伝えています。

ア（１）聖石 （２）倉賀野 （３）平塚 （４）行徳

〔正解 ２〕

イ（１）二子塚 （２）平塚 （３）灰塚 （４）天王塚

〔正解 ３〕

●解説

浅間山は、重なりあう3つの成層火山(黒斑^{くろふ}火山、仏岩^{ほとけいわ}火山、前掛^{まえかけ}火山)で構成されています。特に前掛火山は、歴史時代に何度も噴火を繰り返しています。

1783年(天明3)5月8日に始まった噴火は、一時おさまりますが、同年6月、7月には断続的に噴火し、8月4～5日にかけて大噴火します。この際に火口から北東に吾妻火砕流、北方に鎌原火砕流が発生し、鎌原村をのみこんで吾妻川に流れ込み、多くの犠牲者を出しました。このいわゆる「天明泥流」は、吾妻川から利根川を流下して、沿岸の村々の田畑屋敷を飲み込んでいきました。その一部は江戸川にも入り、今の埼玉県や東京都、千葉県にも供養碑(塔)が建てられています。被害村数は140カ村余、死者は1,500人余といわれています。

噴火による高崎の主な被害は降灰によるもので、次の2点があげられています。1点目は、中山道などの主要街道の遮断と、河床の上昇によって倉賀野河岸への大型船(本船、江戸廻り船)の入港が制限されたことです。これにより高崎の物流と経済が大きな打撃を受けました。2点目は、降灰によって耕作できない土地が増えたことです。村々は、灰を道や河原に廃棄しますが、余った灰は耕作地の脇に寄せるしかありませんでした。そのため、全体の田畑の2割が農地として使用できず(手余り地)、収穫量が大きく減少したため、藩主に「御手当米」や、年貢の減免を要求しています。

各地に残る火山灰を寄せた砂山は、当時の被害の大きさを物語っていましたが、ほ場整備や近年の開発によって、その姿は消えつつあります。

問23

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

江戸時代の高崎の代表的な俳人に羽鳥一紅がいます。一紅は下仁田出身で、高崎城下【ア】の絹問屋・羽鳥勘右衛門に嫁ぎました。勘右衛門も「麦舟」という俳号を持ち、麦舟・一紅夫妻ともに、当時全国で活躍した白井鳥酔の門人の句集に入集しています。

一紅の代表作に『文月浅間記』があります。これは【イ】、浅間山が大噴火した状況を、高崎での自分の体験と伝聞を元に叙述したものです(没後出版)。当時の噴火の記録として優れていたことから、多くの人々に読まれました。

ア (1) 本町 (2) 田町 (3) 鞆町 (4) 鍛冶町

〔正解 2〕

イ (1) 天仁年間 (2) 慶長年間
(3) 享保年間 (4) 天明年間

〔正解 4〕

●解説

羽鳥一紅(1724(享保9)～95(寛政7))は下仁田の通船問屋・石井治兵衛の次女で、同地の商人で学者の高橋道斎や、俳人の田中反哺に俳諧を学んだとされています。その後、高崎城下・田町の絹問屋である羽鳥勘右衛門に嫁ぎました。勘右衛門も「野鶴」(のちに「麦舟」)という俳号を持っており、ともに白井鳥酔に師事したと考えられています。やがて二人は、建部涼袋の門人となっています。ちなみに、羽鳥家の跡継ぎの四郎兵衛も「麦仙」の俳号を持ちます(涼袋門人)。

一紅が残した作品は、4点が知られています。

1つ目は句集『あやにしき』です。これは涼袋の指導の下、一紅の句を40句収め、挿画は涼袋の妻・紫苑、序文は涼袋の母・衛子、評の言葉は橘氏妻・蘭子、跋文は麦舟の妹・小夜で、全てが女性による作品です。1758(宝暦8)年刊行。

2つ目は句集『くさまくら(久佐麻久良)』です。これは、一紅の句を14句収め、それ以外に、同行した実姉といわれる富永柳旨(富岡)、俳友の芙白・和青(下仁田)の句も入集しています。1767(明和4)年刊行。

3つ目は散文作品『文月浅間記』です。これは1783(天明3)年5月から8月にかけて、浅間山が大噴火した状況を、高崎での自分の体験と伝聞を元に叙述したものです。噴火の3か月以内には成立していたと考えられ、多くの写本と関連する作品が存在します。1815(文化12)年静嘉堂文庫本刊行。

4つ目は、散文作品『孝子小伝』です。これは武蔵国下持田村(埼玉県行田市)の百姓政二郎の妻とその娘夫婦が、政二郎の母に孝行を尽くす様子が記されています(他に孝行話を1編収録)。1785(天明5)年刊行。

一紅と麦舟のお墓は、八幡霊園延養寺墓地にあります。

問 2 4

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1827（文政10）年高崎田町で生まれた茂木惣兵衛は、【ア】弁天通糸繭商野沢屋に入り、後にのれんを譲り受け大糸繭商人となりました。1867（慶応3）年には故郷の八幡宮大修復事業に際し大願主となり、賛同者から1063両を集め事業を推進しました。この時奉納された総高約5メートルの大【イ】には、同氏の名が願主として刻まれています。

この燈籠は、高崎出身の商人が郷土の主要産業であった養蚕業や金融、経済発展に大きく貢献した象徴として高崎市指定重要文化財、【ウ】に指定されています。

ア（1）東京 （2）横浜 （3）名古屋 （4）大阪

〔正解 2〕

イ（1）石燈籠 （2）鉄燈籠
（3）陶製燈籠 （4）唐銅燈籠

〔正解 4〕

ウ（1）ぐんま近代化遺産 （2）ぐんま絹遺産
（3）ぐんま産業遺産 （4）ぐんま文化遺産

〔正解 2〕

●解説

八幡町八幡八幡宮の総高5.01メートルの一对の燈籠は、高崎田町出身で横浜弁天通において糸繭商を営み、日本有数の大商人となった茂木惣（宗）兵衛（野沢屋惣兵衛）が大願主となり、1865（慶応元）年開始された大修復事業の記念物として金300両で製作し1867（慶応3）年に奉納したものです。

改修は、八幡宮本殿及び摂社・末社・附属建物など計13の新築あるいは修復におよび、燈籠にはこの事業に賛同した大願主惣兵衛をはじめ、高崎・横浜の糸繭商人、諸商人、養蚕従事者、氏子など多数の寄附人から1063両を集めたことが刻まれています。

燈籠は、高崎出身の商人が郷土の主要産業であった養蚕業や金融、経済発展に大きく貢献した象徴として市指定重要文化財、ぐんま絹遺産に指定されています。

問 2 5

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

倉渚地域は江戸時代には榎田・三ノ倉・水沼・岩氷・【ア】の5つの村からなり、江戸時代前半は諸藩の領地でしたが、後半は旗本領と幕府領でした。烏川右岸を中心とした一帯は幕府が管理保護した御林として木材の供給地域でした。

将軍や諸大名が行った鷹狩に使う鷹が巣をかけるのに適した森林を保護管理した山は【イ】と呼ばれ、各地にありました。【ア】村の大角打1か所が【イ】として指定され、この地域は一般庶民の立ち入りは厳しく禁止されました。

ア (1) 川浦 (2) 白川 (3) 引間 (4) 松之沢

〔正解 1〕

イ (1) 御巢鷹山 (2) 飼場所
(3) 御用山 (4) 知行所

〔正解 1〕

●解説

江戸時代の倉渚地域は、群馬郡三ノ倉村・榎田村、碓氷郡水沼村・川浦村の4カ村でしたが、1643（寛永20）年に川浦村から岩氷村が独立して5カ村となります。江戸時代前半は諸藩の領地として領主が目まぐるしく変わりましたが、後半は旗本領と幕府領でした。三ノ倉・榎田村は中山道脇往還の信州街道（草津街道）が通り、三ノ倉には宿場がありました。川浦村を中心とした烏川右岸は山岳・山林地帯で、幕府が管理保護した御林として木材の供給地域でした。

また、川浦村の大角打一か所は御巢鷹山に指定されていました。御巢鷹山とは、将軍や諸大名が鷹狩に使う鷹が巣をかけるのに適した森林を保護管理した山で、各地にありました。鷹見衆に任命された人は山を巡回し、巢鷹（鷹の雛）の発見に努め、巢鷹を発見すると名主に報告し、時期をみて捕え献上しました。そのためこの山への一般庶民の立ち入りは厳しく禁止されていました。

問 2 6

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎地域には長野堰用水や天狗岩堰用水、滝川用水などが張り巡らされ、広大な面積に大量の水を供給していますが、このほかにもいくつかの用水があり、それぞれの地域を潤しています。

その一つが【ア】用水です。碓氷川と九十九川の合流地点から取水された用水は八幡、剣崎、藤塚、【イ】を灌漑していますが、かつては水車、製糸、養魚池など農業以外に多目的に活用されてきました。特に、1896（明治29）年から始まった養鯉業は【ウ】という、日本で最初に導入された方式で、温水性を活かすことにより、高い漁獲量を可能にしました。

また、乗附、石原、寺尾地区には金ヶ崎堰用水が流れています。乗附緑地の先の【エ】から取水され、水路は約6キロメートルに及びます。金ヶ崎堰用水は【エ】の洪水により、度々、取水困難となり、その都度復旧工事を余儀なくされましたが、1945～1946（昭和20～21）年にかけて行われたトンネル工事により、安定した取水が可能となりました。

ア（1）信玄堰 （2）安中堰 （3）板鼻堰 （4）八幡堰

〔正解 3〕

イ（1）長野 （2）豊岡 （3）根小屋 （4）倉賀野

〔正解 2〕

ウ（1）沈殿式 （2）回流式 （3）流水式 （4）ろ過式

〔正解 3〕

エ（1）烏川 （2）碓氷川 （3）榛名白川 （4）雁行川

〔正解 2〕

●解説

板鼻堰用水は碓氷川と九十九川の合流地点から取水し、安中市板鼻、八幡、剣崎、藤塚、豊岡を流れる長さ15キロメートル弱の用水です。鷹巣山の麓にその堰口があることから「鷹巣堰」とも呼ばれています。江戸時代初期（1604～1614）に開削されたと伝えられています。江戸時代、板鼻、八幡、剣崎、藤塚、豊岡の160ヘクタール余りの水田を潤しました。用水の確保は農民にとって死活問題であったため、旱魃^{かんばつ}時には上流の板鼻との

間で水争いがおこりました。

金ヶ崎堰用水は乗附緑地の先の碓氷川から取水され、乗附、石原の水田地帯を流れる長さ約6キロメートルの用水です。江戸時代に開削されたと考えられますが、細かなことは分かりません。洪水により、度々取水困難となり、その都度復旧工事を余儀なくされましたが、1941（昭和16）年の夏にも洪水が襲います。人々は用水を洪水から守るため、トンネルを掘る計画を立てます。この時、私財を投げ打ち、工事を推進したのが田村今朝吉でした。終戦直後の1945（昭和20）年9月に始まった工事は翌年5月に完成しますが、地元の人々はこのトンネルを「田村隧道」と名付け、完成記念碑を建てて、その功績を顕彰しました。



田村今朝吉翁像
（観音山）

問 2 7

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

明治の町村制施行により、群馬地域の江戸時代からの村々は、合併して上郊村、堤ヶ岡村、国府村、及び金古宿と【ア】が合併し金古町となりました。金古も行政上は農村でしたが、町となったのは【イ】の宿場として街並みが形成されていたことによると思われます。高崎城下本町から分岐した【イ】が榛名道と分岐する【ウ】に市指定史跡の道しるべが残っています。

ア（１）足門村 （２）木部村 （３）菅谷村 （４）三ツ寺村

〔正解 １〕

イ（１）会津街道 （２）佐渡奉行街道
（３）沼田街道 （４）三国街道

〔正解 ４〕

ウ (1) 井野町 (2) 江木町 (3) 下小鳥町 (4) 並榎町

〔正解 3〕

●解説

群馬地域のほとんどは井伊直政が高崎城主の時代は高崎藩領でしたが、直政が転封で高崎を離れると幕領・旗本領・大名領に分かれます。何度かの変遷を経て、棟高・三ツ寺・中泉・萱谷・稲荷台・塚田・井出の7村は高崎藩、引間・東国分・西国分の3村は前橋藩、北原・冷水・足門の3村は沼田藩の所領となり、福島・中里・金古の3村は旗本領でした。保渡田村は高崎藩と安中藩及び旗本が分割して治める相給で、群馬地域は大名領と旗本領が混在していました。

明治の町村制施行により合併が行われ、概ね南の地域は堤ヶ岡村、東は国府村、西は上郊村、そして、北の金古宿と足門村が合併し金古町になりました。金古宿も行政上では農村でしたが、町となったのは街並みが形成されていたことによると思われます。江戸時代初期の1630年代頃から三国街道の宿場として整備され、本陣1、脇本陣1、旅籠や茶屋が設けられ、旗本3氏の領分ごとに上宿・中宿・下宿に分かれ、それぞれ伝馬問屋がありました。

三国街道は中山道高崎宿と北陸街道寺泊宿を結ぶ街道で、高崎城下本町から北上し、下小鳥村（現下小鳥町）で榛名道と分岐し、最初の宿が金古宿です。現在も下小鳥町の三叉路には「三国街道の道しるべ」が残り、市の史跡に指定されています。

問28

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

天然痘（^{ほうそう}痘瘡）は感染力が強く、致死率の高い疫病として恐れられていましたが、ジェンナーによって種痘が発見されたことにより、種痘法が急速に世界に広がりました。高崎藩で1855（安政2）年、生後4か月の藩主の子どもに種痘が施されたという記録が残りますが、領民に対しても藩医【ア】により種痘が実施されていることから、身分に関係なく感染防止策が広く執られていたことが分かります。

また、明治になるとコレラが周期的に流行し、多くの人が罹患しました。1882（明治15）年、コレラに感染した人々を収容するための独立した施設

である【 イ 】が設立され、隔離によって流行を抑え込む対策が講じられるようになりました。

初代高崎市長であった矢島八郎が提示した【 ウ 】には第1期施策の一つとして、市役所庁舎と並んで、伝染病院の改築が挙げられており、伝染病対策が市の取り組むべき喫緊の課題であるとしています。

- ア (1) ^{はなおかせいしゅう}華岡青洲 (2) ^{たかしましようけん}高島昌軒
(3) ^{ちょうさんせき}長三石 (4) ^{くどうしゅんえい}工藤俊栄

〔正解 4〕

- イ (1) 保健所 (2) ^{ひびょういん}避病院 (3) 診療所 (4) 衛生会所

〔正解 2〕

- ウ (1) 市是 (2) 総合計画 (3) 条例 (4) 請願書

〔正解 1〕

●解説

1796(寛政8)年、ジェンナーによる種痘が発見されてから60年後の1855(安政2)年、高崎藩で蘭方医により生後4か月の藩主の子どもに対して種痘が実施されました。種痘の効果が確認されたことにより、普及が図られ、藩内の領民に対しても蘭方を学んだ藩医工藤俊栄により広く施されるようになりました。その後、俊栄は1871(明治4)年、江戸神田にあった種痘館から「種痘術熟練」者として、施術の免許状を与えられています。

初代高崎市長であった矢島八郎は1906(明治39)年、高崎市会の議場において、今後市の進むべき基本方針を「市是」として発表します。そこには第1期7項目、第2期5項目の計12項目が示されていましたが、第1期の施策の一つとして、市役所庁舎と並んで、伝染病院の改築が挙げられています。疱瘡、コレラなどに対する伝染病対策が喫緊の課題であったことが分かります。

問 2 9

次の文章の高崎歩兵第十五連隊にまつわる記述のうち、正しいものはどれでしょうか。

- (1) 片岡小学校のすぐ南に建つ七士殉職供養塔は、1935（昭和10）年9月に高崎市内が台風に襲われたときに、住民救助に向かいながら、決壊した堤防のために濁流に流され殉難した兵士の栄誉をたたえるために建てられたものです。
- (2) 音楽センターの前庭の一角に高崎歩兵第十五連隊歌の詞碑が建てられていますが、その楽譜は残されておらず、現在、この連隊歌を演奏することはできません。
- (3) 高松町交差点の石垣上にある飛龍之松は、1934（昭和9）年の陸軍大演習に昭和天皇が臨幸したことを記念して植えられたものです。
- (4) 竜広寺境内の旧陸軍墓地にある元ロシア人兵士の墓は、1919（大正8）年に高崎歩兵第十五連隊がシベリア出兵に従軍したときに捕らえられた捕虜で、抑留中に傷病死した3名の墓です。

〔正解 1〕

●解説

1935（昭和10）年9月、台風と前線の活動による豪雨は、高崎市内にも甚大な被害をもたらしました。

君が代橋付近では、烏川左岸堤防が決壊し、濁流が歌川町、常盤町へと流れ込み、また、碓氷川でも乗附練兵場付近の堤防が決壊し、1,500戸を超える家屋が流出・浸水などの被害を受けました。このとき、市民救援に向かった歩兵第十五連隊の兵士10名を突如濁流が襲い、7名の若い兵士が亡くなるという悲劇が起こりました。彼らを悼み、殉難地近くの片岡小学校脇に「七士殉職供養塔」が建てられ、供養されています。

問30

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎藩古領（安藤家支配以前の村々）の年貢が、新領（大河内家支配以降の村々）や旧幕府・旗本領よりも重かったことから、1869（明治2）年の凶作をきっかけに古領の農民を中心に税制改正運動が起こりました。高崎藩8万2千石の内、古領5万石で起こったことから「五万石騒動」と呼ばれています。

この騒動で農民は、①田方年貢を新領あるいは旧幕府領と同じ程度に引き下げること、②【ア】を明治政府に求めました。

大総代としてこの騒動を主導した佐藤造酒之助（三喜蔵）・高井喜三郎・小島文治郎の3人は【イ】となりました。

- ア（1）畑方年貢を米納から永納（金納）にすること
（2）徳政令で借金を帳消しにすること
（3）圧政をした初代知県事・大音龍太郎の罷免
（4）高崎宿で相撲や芝居興行を許可すること

〔正解 1〕

- イ（1）手鎖 （2）遠島 （3）死罪 （4）投獄され牢死

〔正解 3〕

●解説

「五万石騒動」は、明治維新期の高崎藩の農民による税制改正を要求した運動です。

高崎藩の年貢徴収方法が本領（城附領）のうち、いわゆる「古領」と「新領」で異なっていたため、1869（明治2）年の凶作をきっかけに農民が結束し、高崎藩役所に窮状を訴え、税制改正を求めました。

農民が大挙して高崎城に迫るなど、緊迫した事態となりましたが、農民の統率のとれた行動で武力衝突は回避され、高崎藩はその年については減免を認め、税制については明治政府の考えを仰ぐことにしました。

しかし、当時の明治政府は、江戸時代の税制維持を方針としていたため、農民の申し立てを認めず、農民が強訴に及んだことは許しがたく「巨魁の者は厳しく糾明」と高崎藩に命じました。大総代の佐藤造酒之助（三喜蔵）・

高井喜三郎が1870（明治3）年2月、小島文治郎が同年9月に処刑され、更に多くの関係者が重い処罰を受けましたが、農民たちは、粘り強く運動を展開しました。

問 3 1

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

達磨大師が座禅をする姿がルーツとされるだるまですが、高崎市は全国一のだるまの生産地です。

高崎だるまの発祥には諸説ありますが、江戸時代の文化文政年間に豊岡村の山縣友五郎が始めたとされています。当時、江戸では【ア】が流行り病として蔓延しており、赤は邪気を払うと信じられていたことから、赤いだるまが【ア】除けのお守りとして売られていました。

明治期には、^{あしなてつじゅうろうもりゆき}葦名鉄十郎盛幸が豊岡村に住み始め、だるまの【イ】を専門に彫り始めます。これにより、農閑期の副業として多くのだるまが作られるようになりました。

近年、『高崎談図抄』という1829（文政12）年の文献に、だるまに関わる記載があることが分かりました。田町の【ウ】で、だるまを売る様子が版画と文章で残されていたのです。まちなかでの、だるま市のルーツともいえるかもしれません。

また、少林山達磨寺では、毎年1月【エ】に七草大祭だるま市が開催され、多くの人出で賑わいます。

- ア（１）結核 （２）コロナ
（３）コレラ （４）天然痘（^{ほうそう}疱瘡）

〔正解 ４〕

- イ（１）金型 （２）木型 （３）砂型 （４）粘土型

〔正解 ２〕

- ウ（１）ゑびす講市 （２）二日市 （３）十日市 （４）六斎市

〔正解 ４〕

- エ (1) 2日、3日 (2) 4日、5日
(3) 6日、7日 (4) 8日、9日

〔正解 3〕

●解説

高崎市では、豊岡地域を中心に「高崎だるま」の製造が盛んで、全国一のだるまの生産地となっています。

高崎だるまの発祥には諸説ありますが、江戸時代の文化文政年間に豊岡村の山縣友五郎が始めたとされています。当時、江戸では疱瘡が流行り病として蔓延しており、赤は邪気を払うと信じられていたことから、赤いだるまが疱瘡除けのお守りとして求められていました。

明治期には、木型彫りの名人、葦名鉄十郎盛幸が彫ったたくさんの木型により、農閑期の副業として多くのだるまが作られるようになり、現在に至ります。

少林山達磨寺で毎年1月6日、7日に開催される七草大祭だるま市は、例年多くの人出で賑わいます。

問32

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

榛名地域は北関東屈指の果樹産地として有名です。地域の里見地区を走る国道406号はフルーツ（くだもの）街道と呼ばれ、夏の訪れとともに果樹園の直売所が開かれ、梨、プラム、桃などの果実が店頭を飾ります。

榛名地域における梨の栽培は1868（明治元）年に当時18歳の【ア】が旧勢多郡木瀬村から数種の苗を取り寄せ、試植したことに始まります。

【イ】はこの時の苗木の一本と言われ、樹齢130年余り、樹高12メートルの大木は群馬県の天然記念物に指定されています。

また、毎年11月には収穫された梨の大きさを競うジャンボ梨コンテストが行われていて、晩生種の重さ1.1キログラム以上のものが「【ウ】伝説」の商標（ブランド名）で販売されています。

- ア (1) 富沢小平治 (2) 中曽根宗郁
 とみざわこへいじ なかそねむねよし
 たけごしとくぞう ひぐちさだつぐ
 (3) 竹腰徳蔵 (4) 樋口定次

〔正解 1〕

- イ (1) 里見の大ナシ (2) 小根のヤマナシ
 (3) 梨の木平の山梨 (4) 室田のナシの木

〔正解 1〕

- ウ (1) 雷おこし (2) 空っ風 (3) 冬将軍 (4) 風花

〔正解 3〕

●解説

下里見に生まれた富沢小平治は農民の生活向上を図るため、梨の栽培を始めようと考えました。現金収入につながる梨の栽培は魅力的であったに違いありません。

1868（明治元）年、小平治は当時梨の一大産地であった旧勢多郡木瀬村（現前橋市下大島地区）から数種の苗を取り寄せ、試植します。梨の栽培に適していたことから、風味のいい良品が産出され、需要が広がりました。梨の栽培農家が増え、明治末頃には換金作物として、農家の重要な収入源となりました。

「幸水」「豊水」「二十世紀」「新高」に加え、ジャンボ梨の「愛宕」「新雪」「王秋」という晩生の品種も栽培されていて、収穫量が一層増加しました。現在、榛名地域における梨の生産量は県内の50パーセントを占めるまでになりました。

地元では「富澤小平治翁顕徳碑」を建立し、その功績を顕彰しています。

問 3 3

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎藩士の子に生まれ、高崎英学校で学んだ【ア】の著した『代表的日本人』は、新渡戸稲造の『武士道』、岡倉天心の『茶の本』と並び、日本人が英語で日本の思想文化を西欧諸国に紹介した名著であり代表的著作です。同書は、彼が、【イ】により失職し、窮乏した生活を送る中で、英文で『Japan and Japanese』として上梓され、後に改訂されたものですが、この中では、西郷隆盛、【ウ】、二宮尊徳、中江藤樹、日蓮の5人の生涯が叙述されています。

- ア (1) ^{あらいりょういちろう}新井領一郎 (2) ^{うちむらかんぞう}内村鑑三
 (3) ^{おざきゆきお}尾崎行雄 (4) ^{みやべのぼる}宮部 襄

〔正解 2〕

- イ (1) 横領事件 (2) 疑獄事件
 (3) 傷害事件 (4) 不敬事件

〔正解 4〕

- ウ (1) ^{うえすぎようざん}上杉鷹山 (2) ^{しまづなりあきら}島津斉彬
 (3) ^{ほしなまさゆき}保科正之 (4) ^{みとみつくに}水戸光圀

〔正解 1〕

●解説

内村鑑三が著した『代表的日本人』は、はじめ英文で『Japan and Japanese』として上梓されました。新渡戸稲造の『武士道』、岡倉天心の『茶の本』と並び、日本人が英語で日本の思想文化を西欧諸国に紹介した名著です。

この中では、西郷隆盛、上杉鷹山、二宮尊徳、中江藤樹、日蓮の5人の日本人の生涯が描かれています。アメリカ合衆国第35代大統領J・F・ケネディが、その就任時に日本人記者から「日本で最も尊敬する政治家は誰か」と聞かれ、「上杉鷹山」と答えたというエピソードがありますが、ケネディは、この書を読んで上杉鷹山を知ったといわれています。

問 3 4

【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

ア 高崎市街地の西部の岩野谷丘陵が観音山と呼ばれる理由とされているのは、どれでしょうか。

- (1) 白衣大観音が建立されたから
- (2) 清水寺の本尊の千手観音に由来
- (3) 井伊直政が命名したから
- (4) 高崎はかつて観音崎と呼ばれていたから

〔正解 2〕

イ 白衣大観音を建立したのは、誰でしょうか。

- (1) やじまはちろう 矢島八郎
- (2) やまだしょうきち 山田 昌 吉
- (3) いのうえやすさぶろう 井上保三郎
- (4) もりむらとりぞう 森村西三

〔正解 3〕

ウ 清水寺・田村堂には、【 】で命を落とした高崎藩士ら36人の木像が安置、慰霊されています。【 】に入るのは、どれでしょうか。

- (1) 下仁田戦争
- (2) 戊辰戦争
- (3) 西南戦争
- (4) 戸倉戦争

〔正解 1〕

エ 1952（昭和27）年に観音山で【 】が開催され、子どもたちに愛される公園として、開発されるきっかけとなりました。【 】に入るのはどれでしょうか。

- (1) サーカス
- (2) 新日本高崎こども博覧会
- (3) えびす講
- (4) 花火大会

〔正解 2〕

●解説

高崎市街地西部に位置する観音山は俗称で、正式には岩野谷丘陵と言います。江戸時代中期に清水寺が高崎城主安藤重博によって再興されると多くの人たちが訪れる大行楽地となり、清水寺の本尊の千手観音にちなみ観音山と呼ばれるようになりました。

清水寺は、808（大同3）年に征夷大將軍坂上田村麻呂が、蝦夷征伐の兵士の健勝と武運長久を祈り、京都東山の清水寺から勧進したと伝えられ、境内の田村堂には、幕末に高崎藩が水戸天狗党と下仁田で戦闘に及んだ「下仁田戦争」で命を落とした36人を慰霊する木像が安置されています。

山頂の白衣大観音は、高崎の産業化を牽引した井上保三郎によって建立され、1936（昭和11）年10月20日に開眼式が行われました。保三郎は大観音の原型制作を伊勢崎出身の彫刻家・森村酉三に依頼しました。

1952（昭和27）年4月1日、サンフランシスコ講和条約による平和の実現と高崎線電化を記念し、観音山で未曾有の大イベント「新日本高崎こども博覧会」が開幕しました。5月20日まで会期50日間の入場者は50万人で、大成功を収め、博覧会の終了後、一部の施設は撤去されずに残され観音山遊園地として運営されました。1962（昭和37）年にフェアリーランド、1969（昭和44）年に流水プールの「カップピア」となり高崎市の観光に大きく貢献し、現在はケルナー広場や子どもプールを備えた都市公園として再整備され、家族客を中心ににぎわっています。

問 3 5

明治、昭和、平成の大合併で高崎市の市域が変遷し、現在の高崎市が形成されました。昭和30年代に進められた「昭和の大合併」の出来事として正しいものはどれでしょうか。

- （1）群馬郡倉渕村、榛名町、群馬町、箕郷町が誕生しました。
- （2）上野三碑（多胡碑・山上碑・金井沢碑）の全てが高崎市域となりました。
- （3）高崎市が塚沢村、片岡村、佐野村と合併しました。
- （4）高崎市と多野郡新町の合併で、高崎市新町が「あら町」に町名変更しました。

〔正解 1〕

●解説

1888（明治21）年の市制・町村制による「明治の大合併」、戦後は1953（昭和28）年町村合併促進法による「昭和の大合併」、1995（平成7年）年の地方分権一括法による「平成の大合併」がありました。

昭和の大合併で、1955（昭和30）年2月1日、倉田村と烏淵村が合併し「倉淵村」が生まれました。4月1日に金古町、堤ヶ岡村、国府村が合併し「群馬町」に、箕輪町と車郷村が合併し「箕郷町」になりました。

また、1955（昭和30）年2月1日室田町と里見村が合併し「榛名町」が誕生し、同年3月に久留馬村を編入しました。

2006（平成18）年1月23日に高崎市と倉淵村・群馬町・新町・箕郷町が合併し、町名表記を区別するため、「高崎市新町」が「あら町」に変更されました。

2009（平成21）年6月1日に高崎市と吉井町が合併したことで多胡碑が高崎市域となり、山上碑、金井沢碑とともに上野三碑が高崎市となりました。

戦前は1927（昭和2）年に群馬郡塚沢村、片岡村と、1939（昭和14）年に群馬郡佐野村と高崎市が合併しています。

問 3 6

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

土屋文明は、西群馬郡【ア】村に生まれた近代日本を代表する歌人です。

旧制高崎中学校に在学中から文学を志し、卒業後に上京して、第一高等学校、東京帝国大学へと進みます。その後、短歌結社誌『【イ】』の選者、編集発行人となり、その指導的存在となりました。歌人として多くの作品・歌集を残すと共に、【ウ】の研究にも打ち込み、研究者としての地位を確立しました。

長期間にわたり、歌壇の最長老として活動し、1986（昭和61）年には【エ】を受章。晩年まで創作活動を続け、1990（平成2）年に100歳で没しました。

生前、自身の歌碑を造ることを許さなかった文明ですが、唯一、群馬町（当時）が文明の100歳を祝い、母校【ア】小学校にある自筆の文字で刻まれた歌碑が死の直前に除幕され、上毛野はにわの里公園にあります。

ア (1) 上郊 (2) 久留馬 (3) 里見 (4) 堤ヶ岡

〔正解 1〕

イ (1) 麻^{あさ}苧^お (2) 馬^{あし}酔^び木 (3) アララギ (4) ホトトギス

〔正解 3〕

ウ (1) 古今和歌集 (2) 拾遺和歌集
(3) 百人一首 (4) 万葉集

〔正解 4〕

エ (1) 旭日瑞光章 (2) 国民栄誉賞
(3) 紫綬褒章 (4) 文化勲章

〔正解 4〕

●解説

近代日本を代表する歌人である土屋文明は、1890（明治23）年に西群馬郡上郊村大字保渡田（現在の高崎市保渡田町）に生まれました。短歌結社誌『アララギ』の選者、編集発行人となり、その指導的存在となるなど歌人として多くの作品・歌集を残すと共に、万葉集の研究にも打ち込み、研究者としての地位を確立しました。

長期間に亘り、歌壇の最長老として活動し、1986（昭和61）年には文化勲章を受賞。1990（平成2）年に100歳で没しましたが、晩年まで創作意欲が衰えることはありませんでした。

問37

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1955（昭和30）年、【ア】を描いた映画『ここに泉あり』が公開されました。

主演の岸恵子は【イ】を演じ、第29回キネマ旬報ベスト・テン第5位に選ばれるなど全国でヒットしました。

この映画のヒットは、【ウ】につながりました。

ア (1) 白衣大観音の建立 (2) 老舗旅館の珍騒動
(3) 群馬交響楽団の草創期 (4) 高崎の空襲

〔正解 3〕

イ (1) ピアニスト (2) 医師 (3) 教師 (4) 若女将

〔正解 1〕

ウ (1) 映画制作等を支援する高崎フィルムコミッションの設立

(2) 群馬音楽センターの建設

(3) 核兵器廃絶平和都市宣言の制定

(4) 高崎市民美術展の開催

〔正解 2〕

●解説

1952 (昭和27) 年に高崎出身の映画プロデューサー市川喜一が群馬交響楽団 (当時の名称は群馬フィルハーモニー) の苦闘を映画にしようと企画。群馬マネージャーの丸山勝廣の手記をもとに岩崎^{あきら}昶の独立プロダクションが映画化しました。監督は今井正、脚本は水木洋子、音楽は團伊玖磨、出演はヒロインのピアニスト役に岸恵子、マネージャー役に小林桂樹、ヴァイオリニスト役に岡田英次が決まりました。

群馬県は後援会を結成し、資金調達や映画撮影に全面協力し、1954 (昭和29) 年8月に県内ロケが行われました。この前年に『君の名は』で真知子を演じ国民的ヒロインとなった岸の人気は絶大で、ロケ現場や俳優の宿舎となった豊田屋旅館には多くのファンが連日詰めかけました。

『ここに泉あり』は1955 (昭和30) 年2月に封切られ、観客動員は全国で300万人超、キネマ旬報ベストテンの5位に選ばれました、この映画は高崎が群馬とともに「音楽のまち」へと進む第一歩となり、市内では群馬音楽センター建設の気運が高まりました。

問 38

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

かみつけの里博物館は、国史跡の【ア】に隣接した考古学系の博物館 (1998 (平成10) 年開館) で、高崎市井出町に所在しています。床面積は約2,000平方メートルで、重要文化財を収蔵・展示できる構造で設計・建築されました。常設展示室のテーマは「よみがえる【イ】」であり、リアル

な模型と豊富な遺物によって、当時の社会構造が分かりやすく学習できるように工夫されています。

- ア (1) 観音塚古墳 (2) 保渡田古墳群
(3) 日高遺跡 (4) 箕輪城

〔正解 2〕

- イ (1) 中世の武将たち (2) 弥生のくらし
(3) 5世紀の世界 (4) 古墳人の実像

〔正解 3〕

●解説

かみつけの里博物館のような、遺跡に併設された博物館を「サイトミュージアム」とよびます。サイトとは遺跡のことです。群馬県における代表的サイトミュージアムとして、みどり市岩宿博物館（岩宿遺跡）、藤岡市藤岡歴史館（白石古墳群）を挙げることができます。近年では、保存整備した遺跡に小規模な展示館（ガイダンス施設）を設置する例も増えています。

問 3 9

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1981（昭和56）年4月18日に誕生した【ア】町は、近くに金井沢碑や山名城址などがある岩野谷丘陵にあります。この地は、埼玉県境から前橋インターチェンジまでの間約15.2キロメートルの【イ】の盛土用材として約700万立方メートルの土砂を供給した跡地です。

その後1979（昭和54）年から群馬県企業局が面積約31ヘクタールに及ぶ住宅団地造成工事を行い、区画道路は交通事故を考慮して、交差点が丁字路になるよう整備するなど工夫して出来た町です。

ア (1) 城山 (2) 寺尾 (3) 中山 (4) 石原

〔正解 1〕

イ (1) 国道17号 (2) 上信越自動車道
(3) 関越自動車道 (4) 国道18号

〔正解 3〕

●解説

1981(昭和56)年4月18日に高崎市城山土地区画整理事業の換地処分の公告及び群馬県告示第296号により正式に城山町が誕生しました。

この城山町は、関越自動車道建設のため道路公団が丘陵地の一部を土取りして円錐台状になった跡地に、1979(昭和54)年に群馬県企業局が工事を行い、宅地部分には良質土を盛って面積約31ヘクタールの町を城山団地として造成しました。道路は交通事故を考慮し、交差点が主として丁字路になるよう整備されるなど、斬新な発想と緑豊かな住宅団地が誕生しました。

なお、削平された約700万立方メートルの土は関越自動車道の盛土として、埼玉県境から前橋インターチェンジまでの間約15.2キロメートルに使用されました。搬送には大型ダンプやトラックが多数使用されました。

問40

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎地域では路線バスの利用者の減少により、路線の廃止や運行本数の減便が進んだことから、交通弱者対策として、1997(平成9)年、【ア】の愛称で、自治体主導の循環バスの運行を始めました。当初は東西南北の4路線でしたが、徐々に路線を増やし、現在は18路線が整備され、高崎市民の大切な足となっています。さらに、これとは別に吉井地域では「よいバス」が、榛名地域では「はるバス」が運行されています。

また、倉渕、榛名、吉井地域には「おとしよりぐるりんタクシー」が、中心市街地には「お店ぐるりんタクシー」が導入されています。このほか、倉渕地域では【イ】支援事業として、せせらぎ号が運行されるなど、地域のニーズに応じたきめ細かな対応が図られています。

- ア (1) めぐるん (2) ぐるりん
(3) ぐるっと (4) マイバス

〔正解 2〕

- イ (1) 高齢者の買い物 (2) 観光客の誘客
(3) 児童・生徒の通学 (4) 日帰り温泉の利用

〔正解 1〕

●解説

高崎市内を循環するコミュニティバス「ぐるりん」は1997（平成9）年から運行が始まりました。当初は東西南北の4路線でしたが、次第に数を増やし、合併町村にも走らせるようになった結果、現在は18路線で運行されています。

また、バスナビシステムという「ぐるりん」の位置情報配信サイトを導入しています。これにより、バスの位置をリアルタイムに知ることができるなど、利用者の利便性を高める工夫がされています。

基本運賃は大人200円、子ども100円の定額ですが、乗り継ぎ割引や回数券・共通パスカードの利用により、より安く利用できるようになっています。

「ぐるりん」という名称と車体にペイントされた鳥をモチーフにした意匠は公募により決められたものです。「ぐるりん」は正に市内を循環するコミュニティバスに相応しいネーミングであり、カラフルな鳥が楽しそうに舞う姿は市民の心を和やかな気分にしています。



問 4 1

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

浜川町から井出町にかけて建設中の浜川運動公園に今年度テニスコートが整備され（7月11日オープン）、名称は「【ア】メモリアルテニスコート」です。

【ア】は箕郷町出身で、1920（大正9）年のテニスの四大国際大会の一つウィンブルドン選手権に日本人として初めて出場し、準決勝で足を滑らせた相手に柔らかく返球したというエピソードの持ち主です。日本人のフェアプレー精神として教科書に掲載されるなど広く知られるようになりました。

テニスコートは【イ】面整備、うち4面はナイター照明のほか、観客席も設置されています。

- | | | | |
|------|-----------------------------|-----|-------------------------------|
| ア（１） | <small>しみずぜんぞう</small> 清水善造 | （２） | <small>くまがいいちや</small> 熊谷一弥 |
| （３） | <small>さとうじろう</small> 佐藤次郎 | （４） | <small>まつおかしゅうぞう</small> 松岡修造 |

〔正解 1〕

- イ（１） 8 （２） 11 （３） 17 （４） 21

〔正解 4〕

●解説

清水 善造（1891（明治24）～1977（昭和52）年）は、箕郷町に生まれ、現在の高崎高校に入学し、テニスを始めました。1920（大正9）年、日本人で初めてテニスの4大国際大会の一つ、ウィンブルドン選手権に出場し、準決勝で当時世界一の選手といわれたアメリカのチルデン選手と対戦しました。1921（大正10）年には世界ランキング4位に。1927（昭和2）年に現役を引退し、その後は後進の育成に尽力しました。

コートはセミハードコートの21面で、うち4面はナイター照明を設置。メインコートは観覧席300席と700人を収容できる芝生の観覧エリアを設けました。施設の中央には長さ約100メートルの2階建ての観覧デッキがあります。また、クラブハウスには喫茶ラウンジの他、展示コーナーがあり清水善造の功績とゆかりの品々を見ることができます。

高崎学検定委員会